

# 郵送調査法における手書き依頼の効果

土屋 隆裕 データ科学研究系 准教授

## 【調査の目的】

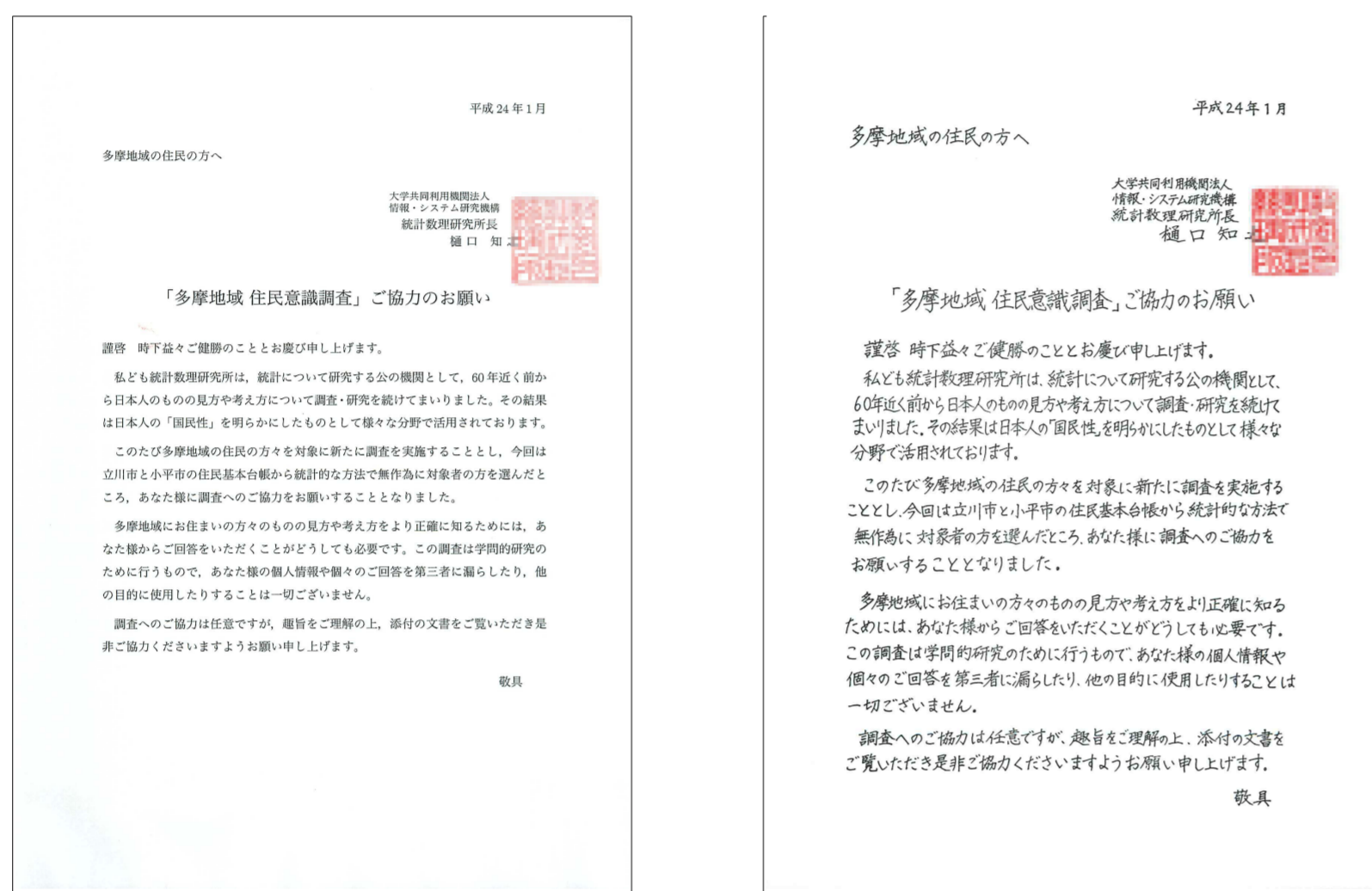
郵送調査法において、活字印刷された依頼状に替えて、手書きされた依頼状を用いることで、回収率が向上するかどうか、また活字印刷された依頼状に加えて、手書きされた一筆箋を同封することで、回収率が向上するかどうかを調べる。

## 【手書きの依頼状】

調査対象： 20～79歳の立川市・小平市の住民 2,400名

調査時期： 2012年 1～2月

依頼状： 調査対象を無作為に2群に分け、以下の2種類のうち一方を同封



回収結果： 回収率の差はほとんど認められず、性・年齢層別にも差は認められなかった。

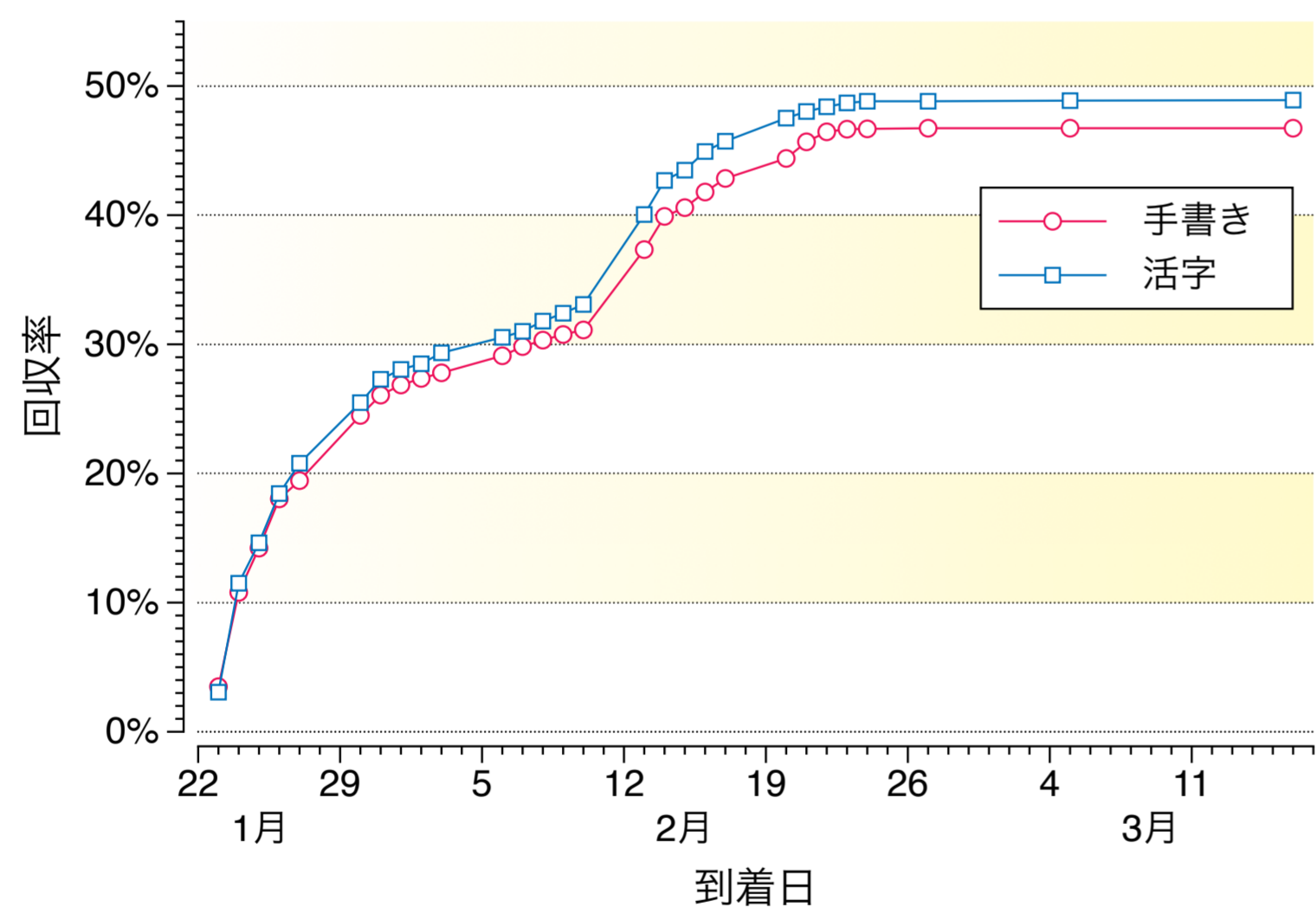


図1：回収率の推移

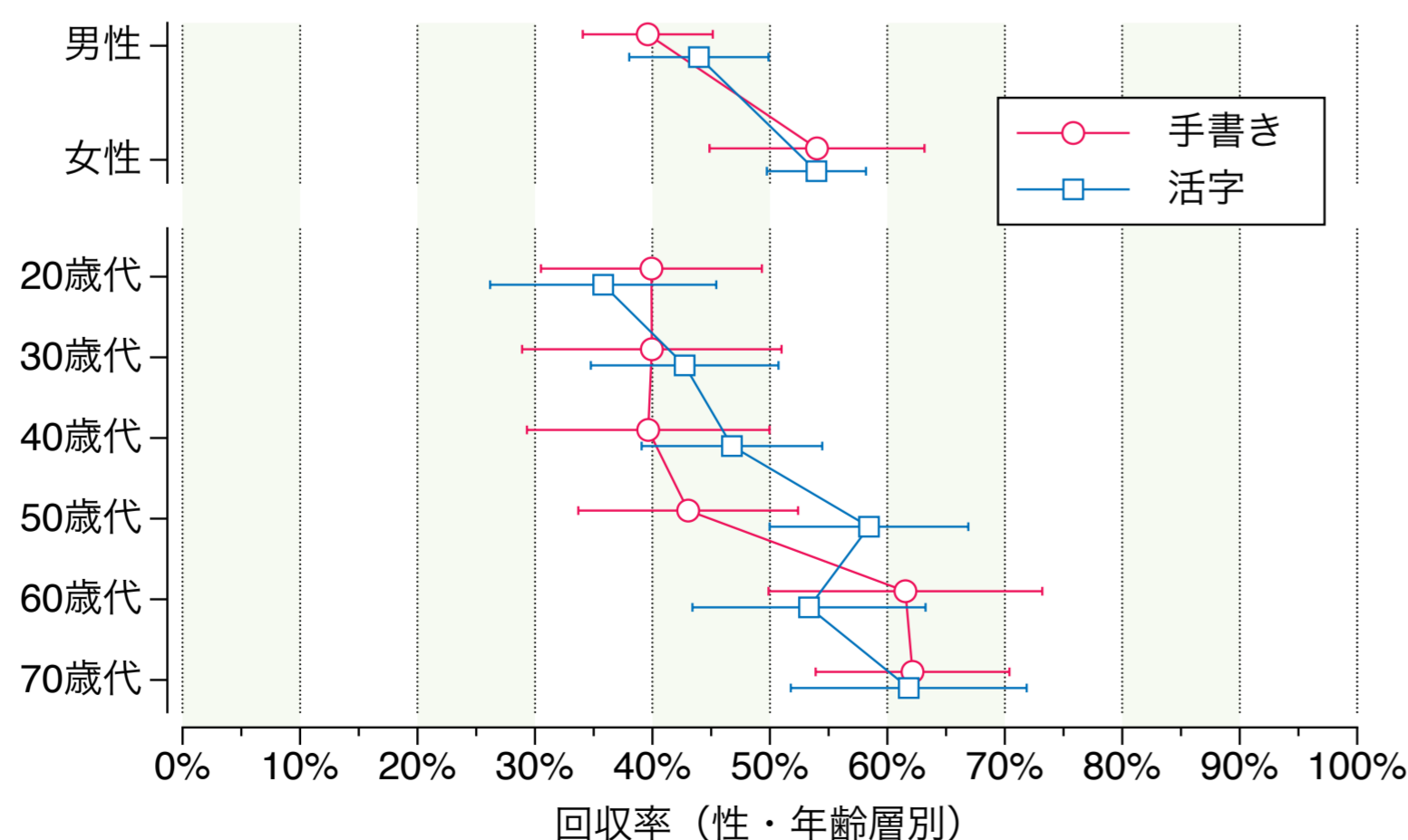


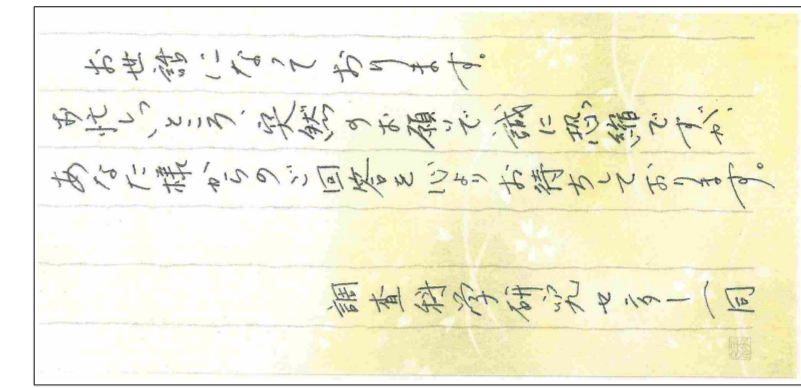
図2：属性別回収率

## 【手書きの一筆箋】

調査対象： 20～79歳の昭島市・小金井市の住民 2,400名

調査時期： 2013年 1～2月

一筆箋： 調査対象を無作為に2群に分け、一方には以下の一筆箋を同封



回収結果： 回収率の差はほとんど認められず、性・年齢層別にも差は認められなかった。

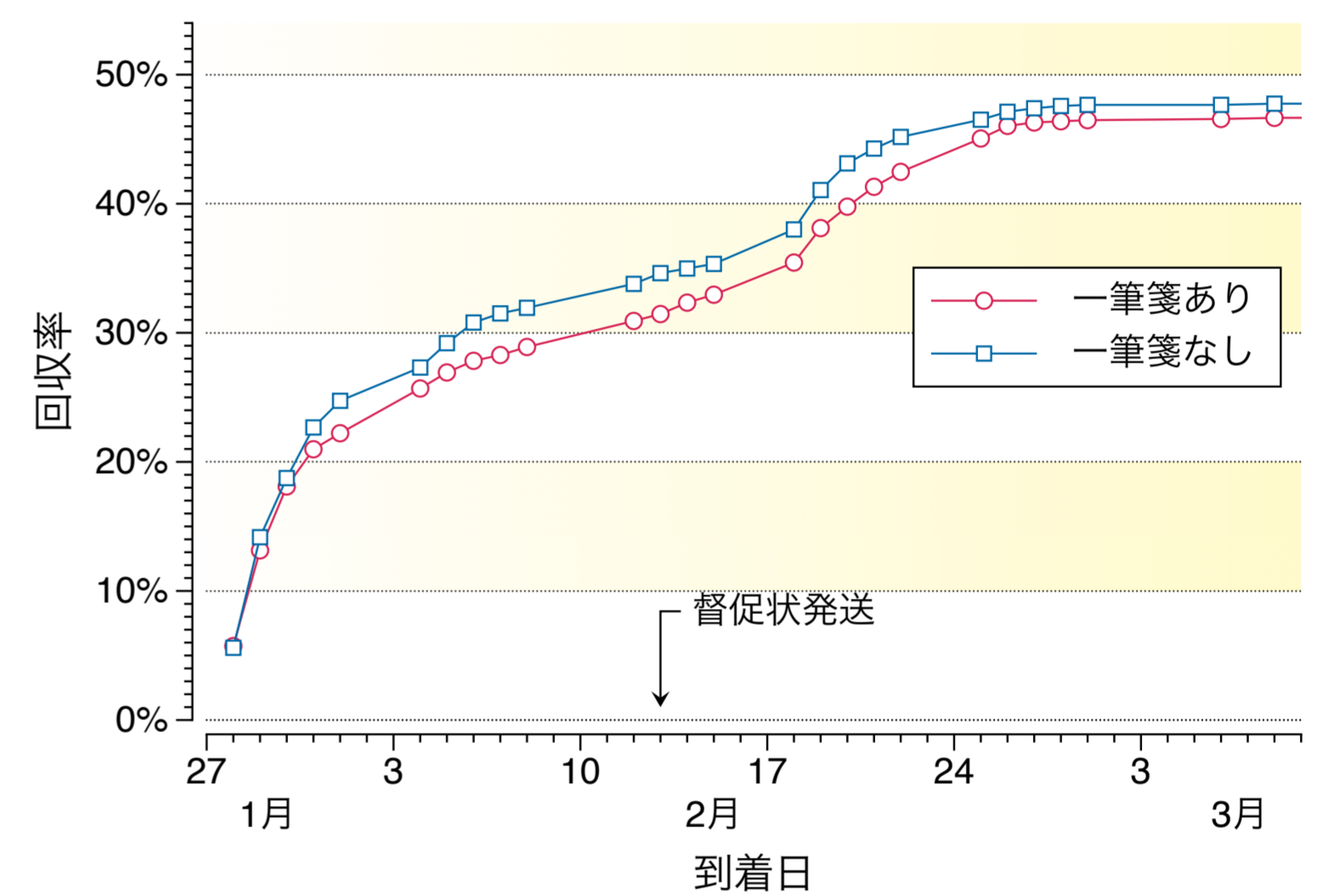


図3：回収率の推移

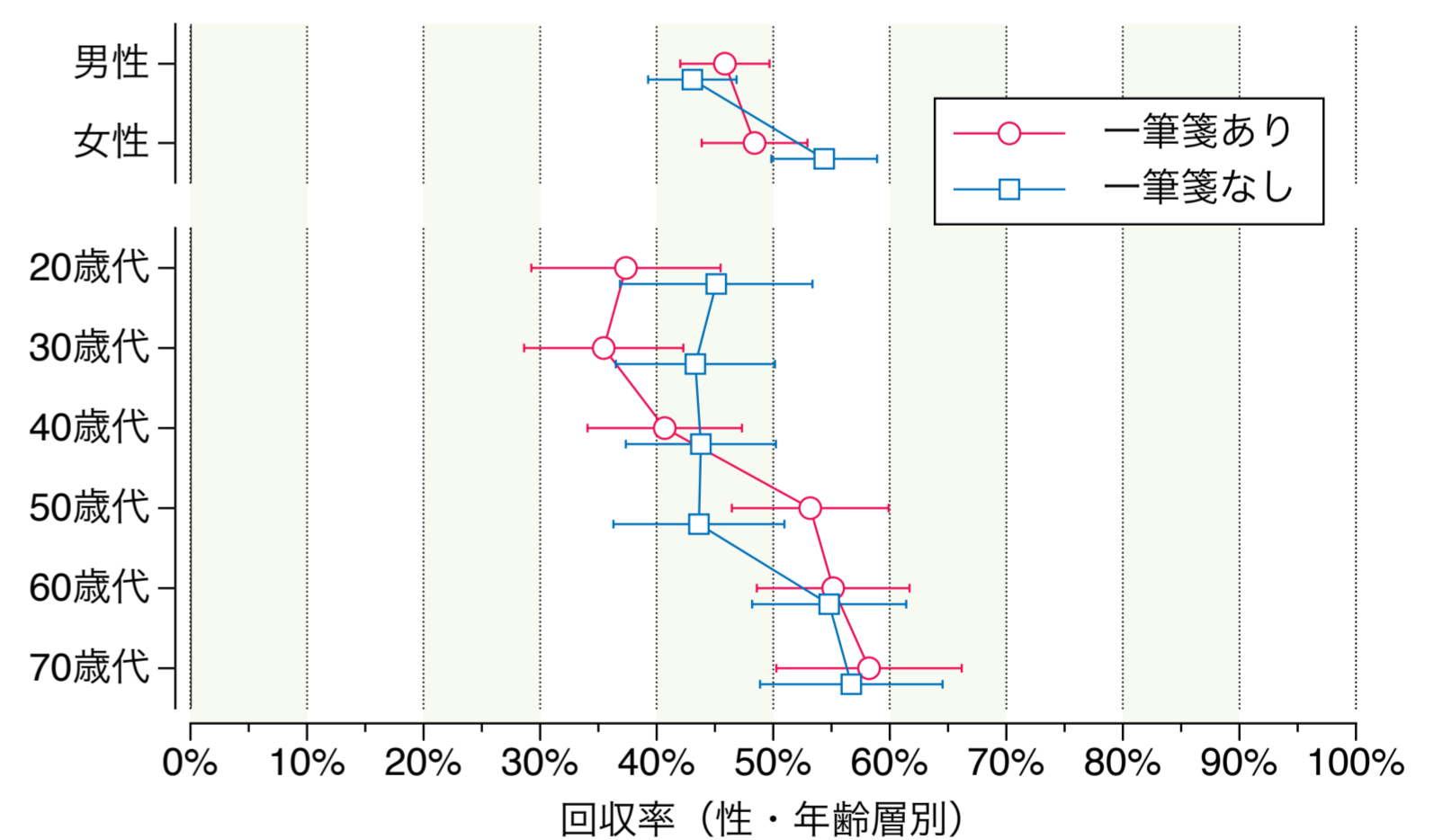


図4：属性別回収率

## 【まとめ】

郵送調査法において、手書きによる依頼は、性・年齢層に拘わらず回収率向上に寄与するとは認められなかった。

## 【参考文献】

土屋 隆裕 (2013) 『多摩地域 住民意識調査 —立川市・小平市 郵送調査 (2012)—』 統計数理研究所調査研究リポート No.108.  
 朴 堯星・土屋 隆裕 (2013) 『多摩地域 住民意識調査 —昭島市・小金井市 郵送調査 (2013)—』 統計数理研究所調査研究リポート No.112.